

厚真町ローカルベンチャー等推進事業委託業務仕様書

1. 委託業務名

厚真町ローカルベンチャー等推進事業委託業務

2. 業務の目的

本事業は、町内での挑戦を促し、町を拠点に起業を目指す起業家人材を育成することで、地域での新規事業の立ち上げや新規雇用創出などを促進するとともに、先進的で継続的な事業や地域経済の循環効果を創出する事業への支援拡大により地域経済活動の活性化を図ることを目的とする。

なお、詳細については「厚真町ローカルベンチャー等推進事業委託業務公募型プロポーザル方式実施要領」を参照のこと。

3. 業務委託期間

契約日の翌日（土日祝日を除く）から令和8年3月20日まで

4. 委託業務の内容

本業務は、提出された企画書の提案内容に即して実施することとする。提案には、重視するコンセプトや企画案を企画書内に具体的に記載することとし、下記の事業内容及び事業ごとに設定されたKPIを達成するために有効と見込まれる内容となるよう十分検討し作成することとする。なお、企画書を作成する者の判断で、KPIの上方修正や新たな事業提案がなされることを期待する。

また、本業務を実施する者は、「厚真町ふるさと納税返礼品発送等業務（以下、「ふるさと納税業務」という。）」及び「厚真町関係人口創出アプリ管理・運用委託業務」の受託者と緊密に連携しながら、業務を進めることができる者とする。企画書には、全体の事業を統合した形でのスケジュール（工程表）を記載することとし、イベント開催については、参集方式を重視しつつオンラインの活用も併せて全体の事業を企画すること。

なお、業務を進めるにあたっては町と定期的に打ち合わせを実施するものとし、業務内容の変更等の必要が生じた際には、随時、町担当者と直接打合せを行い決定すること。本事業に関わる発信・印刷内容については町の確認を経ること。実績報告に際しては、翌年度以降の本事業実施に対する提案事項及び活用可能な財源についても記載すること。

（1）ローカルベンチャースクール運営及びローカルベンチャー育成事業

【事業内容】

厚真町で起業（起業型）もしくは既存企業における新規事業の創出（協働型）を目指す人材を募るため、本事業受託者等において事業計画作成等支援を実施した上で、応募者の中から当町及び本事業受託者等によって、継続的な起業・新規事業創出に向けた支援を受ける者（以下、「採択者」という。）を選考・伴走する。

①人材発掘及びPR業務

（ア）町内外において、起業または新規事業創出に関心を有する人材を発掘するため、広報・啓発活動を行うこと。

（イ）SNS、Web、地域メディア、その他の広告や個別のコミュニケーション等多様な手法やPRの場の活用を検討し、町内外からの応募者確保を図ること。

（ウ）広報活動は、起業型・協働型人材として応募する可能性のある人材に的確に届くよう戦略的に設計し、広報計画を作成すること。

②ローカルベンチャースクールの企画・実施

（ア）地域資源や課題を活用した事業創出に資する人材育成のため、「ローカルベンチャー

スクール（以下「LVS」という。）」を企画・運営すること。

（イ）LVS は、メンタリングによる参加者の自己理解及び事業構想の深化、並びに仲間づくり・ネットワーク形成の機会を提供するものであること。

（ウ）講師・メンターには、地域内外の起業経験者や専門人材等を適切に配置すること。

（エ）LVS 終了後における伴走作成支援につなげる構成とすること。

③エントリー者へのフォローアップ支援

（ア）LVS エントリー前には、参加意思を醸成するための個別相談・事前面談等を実施し、参加者の不安や疑問を解消すること。

（イ）エントリー者に対し、LVS 参加前後のタイミングにおいて適切なフォローアップ支援を行うこと。

（ウ）LVS 終了後には、参加者の意向・計画段階に応じた伴走支援を行うこと。

（エ）LVS 未エントリー者あるいはエントリー後辞退者であっても、町を拠点とした起業を希望する場合には起業サポートを行うとともに、必要に応じて次回の LVS 参加を提案すること。

④LVS 採択者等に対する継続的支援

（ア）採択者に対し、起業または事業化に向けた継続的な支援を行うこと。

（イ）支援内容は、定期面談、事業アドバイス、関係者紹介、資金調達支援等、多面的な支援とすること。

⑤成果の把握及び報告

（ア）広報及びエントリーの進捗、実施概要について定期的に進捗を報告し、定量的・定性的成果を記録・整理すること。

（イ）LVS 参加者に対しアンケートを実施し、満足度等を報告すること。

【K P I】

①PR に使用する広報媒体や PR 機会：4 種類以上

②起業数：4 件以上／年

※起業数は、起業型地域おこし協力隊のうち起業した数、協働型地域おこし協力隊を受け入れた企業数、地域おこし協力隊制度に関わらず地域を拠点に起業した総和とする。

※起業型・協働型の審査は、それぞれの地域おこし協力隊種別の特性により異なる日程・審査方法を可能とする。

③応募者数：10 名以上

※LVS に参加を希望し、所定の応募書類を提出する者の数

④その他独自の K P I や事業提案（必須では無い）

（２）ローカルベンチャープラットフォーム形成事業

【事業内容】

町民が挑戦や起業・新規事業創出に関心を持ち、応援し合う文化を醸成することを目的とする。特に、女性や子ども、町職員など多様な人材の挑戦を促し、町内で新たな価値創出が生まれる基盤を整備する。

①挑戦・起業文化及び応援・支援の町民の意識醸成・関心喚起に関する取り組み

（ア）若者や女性等の「何かを始めてみたい」と考える層に重点を置き、町民の挑戦を後押しするイベントを企画・実施すること。

（イ）イベントを通じて挑戦への意欲を持った町民に対し、挑戦を実現するためのサポート、起業や事業化に向けた継続的な伴走支援を行うこと。

（ウ）地域資源、専門人材、資金制度等の情報を整理・可視化し、支援希望者とのマッチングをすること。

②町職員のスキルアップ支援

(ア) 組織全体の活性化に貢献できる人材の育成と、挑戦を応援する意識を醸成する研修を実施すること。

③地域を題材とした研究者への支援に係る制度設計支援

(ア) 地域を題材とした研究者を支援する制度設計（募集・審査・町内での対応等）を支援すること。

(イ) 研究者の成果報告に対する町の取扱い、町による成果の活用について指針を提示すること。

(ウ) 制度が円滑に機能するよう、問合せに対応し調整等を行うこと。

(エ) 研究者支援に係る制度設計、研究成果の活用に関する指針の作成とそれら成果品一式を提出すること。

④コミュニティづくりと交流促進

(ア) 挑戦者・起業家・協力隊・支援者・町民が交流できるイベントを企画・運営すること。

(イ) 地域おこし協力隊や起業家、サポーターが情報共有・連携できるオンライン／オフラインのチャレンジ応援コミュニティを形成するよう努めること。

⑤町民・イベント参加者ヒアリングの実施

(ア) 町民やイベント参加者へのヒアリング・アンケート調査を行い、ニーズを把握し、改善案を提案すること。

【K P I】

①子どもまたは女性向け企画の実施回数：1回以上、参加者数町民15人以上

※挑戦支援・報告会等セットになる取組の場合、合わせて1回とする

②挑戦者と応援・支援者の交流機会の創出：3回以上

③職員研修の開催数：1講座以上

※複数回研修により完結する研修は1講座とカウントする

④その他独自のK P I や事業提案（必須では無い）

(3) 情報発信事業

【事業内容】

本業務は、厚真町内で挑戦する起業家や地域事業者、それを応援する住民・関係人口に関する情報をウェブサイトやSNS等で戦略的に発信し、次の目的を達成するものである。なお、この目的は町との協議のうえ修正しても構わない。

- ・本事業の理念やビジョンの明確化により、関係者がその価値観に共感し自分事化すること
- ・町民・関係人口による挑戦への理解・共感の促進
- ・関係人口が町の挑戦の担い手となる「仲間」として地域内で活躍・定着 するような継続的な関係構築
- ・ふるさと納税や来町等を通じた地域参画の促進
- ・「応援することを楽しむ」文化の醸成
- ・ローカルベンチャースクールや関連施策との連携・相乗効果の創出

また情報発信は、厚真町が管理するコミュニティサイト「あつまのおと」を中核とし、関係人口アプリ「Atsuma Lovers」や各種SNS、LVS 募集ページなどとも連動させて実施する。なお、情報発信の内容・目的等に照らし、必要な場合は「あつまのおと」を解消した上で、新たなWebサイトを立ち上げて構わない。事業を進めるにあたっては、町が委嘱する情報発信専門家人材と必要に応じて打ち合わせを実施するものとする。

①情報発信の戦略立案

(ア) 本事業全体の理念・ビジョンの言語化（キャッチコピー、ボディコピー等）を行うこ

と。

(イ) 挑戦者・応援者（支援者）が大切にすべき価値感あるいは目指す将来像を言語化すること。

(ウ) 「誰に」「何を」「どう届けるか」を整理した発信戦略（編集方針等）を策定すること。

(エ) 本事業に関わる情報発信チャンネルの整理と役割を明確化すること。

(オ) LVS、起業支援等とタイムリーに連携する記事スケジュール・年間発信計画を作成すること。

②情報発信メディアの構成整理と再構築

(ア) 現存記事の棚卸し（整理・保存と記録）を行うこと。

(イ) 情報アーキテクチャ（構成・カテゴリ・タグ）の見直しによる閲覧性・検索性を向上させること。

(ウ) トップページやユーザー導線を再設計すること。

(エ) 過去記事は必要に応じて再編集し、体裁を整え再掲載を実施すること。

③コンテンツ制作・発信

(ア) 新規記事の企画・執筆・撮影すること。

※原則ライター・カメラマンを職業としている人を活用すること。

※写真・映像の撮影、記事の執筆については町内の起業家人材を積極的に活用すること。

(イ) 写真・映像素材の計画的撮影とデータ整理を行うこと。

※撮影素材は今後の事業広報に転用可能な体裁・形式で納品すること。

(ウ) KPI 対象外の記事については柔軟に運用すること。

④効果測定・分析・報告

(ア) Google Analytics 等を用いた PV、滞在時間、流入元などを分析すること。

(イ) SNS エンゲージメントやアプリ経由アクセスを分析すること。

【K P I】

①本事業で管理するウェブサイトを通じた問い合わせ者数：10人

②掲載記事本数：5本以上

※質的向上に努めること。

※ニュース記事、レポート記事といった比較的短い記事は5本のKPIに含めない。

※町の校正確認を経ること。

③Atsuma Lovers アプリ紹介ページPV数：500PV以上

④その他独自のKPIや事業提案（必須では無い）

（４）来年度に向けた企画提案事業

【事業内容】

本事業は単年度での成果にとどまらず、中長期的な視点に立った事業展開を見据えることが不可欠である。この観点から、次年度以降の事業の継続的・発展的な実施に向けた企画案（継続実施のための体制、現行事業の成果や課題を踏まえた改善提案、新たな事業展開の構想、他事業との連携深化案、地域資源や関係人口を活用した新規モデルの提案等）の提出を求める。

町としては、これらの提案を通じて、持続可能で効果的な人材育成の仕組みづくりにつなげたいと考えている。

①継続的・発展的な実施に向けた企画案

(ア) 来年度以降の事業の継続的・発展的な実施に向けた企画案（継続実施のための体制、現行事業の成果や課題を踏まえた改善提案、新たな事業展開の構想、他事業との連携深化案、地域資源や関係人口を活用した新規モデルの提案等）を提出すること。

※企画提案にあたっては、令和7年度単年度の取組にとどまらず、本事業のみでは解決が

困難な中長期的な課題への対応方針や、現時点で構想している次年度以降の展開案・企画の方向性等についても、可能な範囲で提示すること。

【K P I】

①次年度以降事業継続のための企画案の提出

5. その他

- (1) ローカルベンチャー協議会に参画し、他地域の良い点等を本事業に活かすこと。
- (2) 本事業を効果的に行うための独自の提案事業を行うことができるものとする。

6. 業務の遂行

業務の遂行にあたっては、町担当者と定期的な協議を実施のうえ業務を進めるものとし、必要に応じて町担当者の指示、承諾を得るものとする。

7. 成果品

町担当者等への仕様書に対応した業務成果の報告書（印刷物1部、デジタルデータ）を提出（任意様式）すること。